



緑野小だより

Midorino Elementary School http://nk-midorino-e.a.la9.jp



平成31年1月8日 中野区立 緑 野 小学校 校長 駒 崎 彰 児童数 489 家庭数 395

各新聞社の新年の社説から「2019年の学校教育」を展望する

校長

新年のスタートに各新聞の「社説」を読むことを先輩から勧められ、ここ数年じっくりと 読み解くようにしている。「社説」は、各社の主張や考えを掲載するものであり、日本の「今」 を捉えるものであると考えている。新年の「社説」で印象に残った内容から、今年も(この シリーズ3年目になります) 学校教育を展望したい。

毎日新聞では、「『情報爆発』の時代と言われる。スマートフォンという高性能コンピューターを多くの 人が持ち歩き、デジタルデータの流通量が年ごとに飛躍的に増えていく状況を指す。」と冒頭で述べ、 「膨大な個人データをAI(人工知能)が処理するとき、私たちは思いがけない事態に直面する。 |と説い ている。そこには「民主主義との緊張関係」があるとして、「情報爆発の特質は、その量が膨大過ぎて人 間が共有できなくなったことだ。情報の海に飛び込んだ人間は、好みの情報にすがる。そこにフェイクニュ ースが紛れ込み、AIでカスタマイズされた情報が追いかけてくる。脳科学者の茂木健一郎氏は「情報爆 発と個々人の処理能力のギャップに目をつけると、悪用を含めいろんなことができる。その意味でAIが人 間を超すシンギュラリティーはすでに起きている」と指摘する。」と分析して、「議論をする。互いを認め合う。 結論を受け入れる。リアルな肌触りを省いたら民主主義は後退する。」と AIと民主主義の関係をまとめて いる。

「情報爆発」の時代を生きる子供たちが、莫大な情報の中から有益な根拠のある情報を選 択し「議論」すること、そして「互いを認め合い」ながら最適な解を探し、最終的にまとめ あげた「結論」を受け入れる。このような資質・能力の育成が急務であると捉えている。

読売新聞は、「世界の安定を支えてきた軸が消えつつあるようだ。こうした中で、最も警戒すべきなのは、 米国と中国の覇権争いによる混乱である。」と先行不安な国際情勢について「米中対立の試練に立ち 向かえ 新時代に適した財政・社会保障に」と題して論じている。不確実性の高い国際情勢の中で、日 本は「安定した社会を、治安の良さや、教育への熱意、勤勉の尊重といった美点とともに次代に引き継 ぎたい。」とまとめている。

さらに日本経済新聞では、「不確実性にたじろがず改革進めよ」と題して、「日本企業が抱える課題は、 時代を変えるようなイノベーションを主導できていないことにある。グローバル化とデジタル化という二大潮流 に乗れなかったことが一因だ。中国の国内総生産は日本の2倍以上に増えており、この潮流の恩恵を最 大限活用してきた。 イノベーションは従来の技術の延長線上には生まれにくい。 |と論じ、 「さまざまなリスク を抱え、今年は変化がどう起こるのかが読みにくい、不確実性をはらむ年だ。だが、たじろいではいけない。 平成の次の時代を豊かなものにするために、2020年の東京五輪・パラリンピックを越えて日本の復権を実 現するために、政府も企業も改革に全力を尽くす年にしたい。」とまとめている。

現在、学校教育もどのように変化をしていくのかを読みにくい「不確実性の高い」教育課 題が多くなってきているように感じる。2020年は東京五輪・パラリンピックと同時に「学 習指導要領」全面実施を迎え「教育改革」の大きな波を迎える年でもある。

「不確実性にたじろがずドラスティックに学校改革を進めていきたい」



新春の集い週間

特別活動部 首藤 明子

8日(火)から全校で、日本の伝統文化に親しむ活動を行う1週間です。

1「百人一首」「いろはかるた」の取り組み

1年生は、いろはかるた、2年生以上は五色百人一首に取り組みます。五色百人 一首とは、百人一首を五色の20枚ずつに分けて対戦するものです。2年生から6 年生まで毎年挑戦する色が変わり、5年間かけて全ての札を覚えます。

2「席書会」について

1,2年生は硬筆、3~6年生は毛筆の書初めをします。1,2年生は期間内に 各教室で実施しますが、3~6年生は学年ごとに体育館で行います。8日(火)は5. 6年生、9日(水)は3、4年生が体育館に広がり、集中して取り組みます。心を落 ち着け、とめ・はね・はらいに注意して形を整えながら、清書を仕上げます。

なお、校内書初め展は1月12日(土)から25日(金)です。12日(土)の 学校公開日より、席書会の書初め作品を各教室の廊下に展示しますので、 是非ご覧ください。



本校らしい「新しい学び」の在り方

研究推進委員長 渡邊 朱実

本校では、「思いや考えを深める子の育成~主体的・対話的で深い学びを通して」をテー マにして、子供たちの学びの質や深まりを向上させて、思考力を育む指導をめざした授業 改善に取り組んでいます。今年度は、生活科と総合的な学習の時間を中心に、より探究的 な学習や協働学習を展開していこうと取り組んでいます。その中からいくつかの実践を紹 介します。

2年生は、生活科で身近にあるものを使って遊ぶものを工夫して作り、遊びを創り出す 学習をしています。

3年生は、ヤゴの飼育活動からトンボの生態について探究した後で、理科の学習と関連 付けながらさらに対象を昆虫へと広げ、身近な自然環境について考える学習をしました。

5年生は、自分たちが理想とする「未来の学校」を描き、現在の学校における課題を発 見し、それらを解決し変革を起こす「イノベータになろう」という学習をしました。実社 会とのつながりを学ぶために日立財団と連携した活動です。

6年生がドローンを使ったプログラミングを体験しながら、未来社会を考えてきた学習 の様子は、先日の学習発表会でご覧いただきました。

子供たちが、課題を探究する中で他者と積極的に話し合いながら課題を解決していく姿 や、共に考えをまとめたり表現したりしながら考えを深めていく姿は、私たちの授業改善 への励みとなっています。これからの時代に求められる資質・能力の育成をめざして、本 校らしい「新しい学び」の在り方をこれからも開発していきたいと考えています。

学習発表会を終えて

文化的行事担当 吉田 智美

12月7日(金)8日(土)の2日間にわたり、学習発表会を行いました。オープニングでは、 武蔵野美術大学の学生とコラボレーションをして作った作品を上映しました。今年のテーマは「ウ ズラ」です。学生のみなさんと教員、子供たちがアイディアを出し合い、創作活動を進めてきまし た。外部の人材と協働する貴重な体験により、子供たちも楽しく芸術にふれることができました。 また保護者鑑賞日には、実際に3年生のウズラバルーンをふくらませ、多くの方に見て頂きました。

各学年の発表は、学習内容を生かして伝えました。2、5 年生は音楽を中心とした内容で、合唱 や合奏の練習を積み重ねてきた成果を発表することができました。1、3、4年生は、国語の群読や 合唱を取り入れ、物語の様子を表現しました。6 年生は、総合的な学習の時間で未来社会について 調べ、考えたことを発表しました。ドローンや自動運転の車など、これからの社会がどう変わって いくのか、自分たちの考えを伝えることができました。「どんなに技術が発展しても、未来を思い描 き、創っていくのは人」だという言葉を頼もしく感じました。

2 年連続の学習発表会でしたが、昨年度とはまた一味違う学習の成果をお見せすることができま した。







短縄跳び

体育的行事担当 片山 奈々

今年度も12月の半ばから月曜日・木曜日の中休みに、全校でリズム縄跳びに取り組んできました。 前跳び、後ろ跳び、かけ足跳びなどの基本的な技を4分程度の曲に合わせて跳んでいます。手本とな って跳ぶ体育委員を見ながら、リズムに合わせて楽しそうに縄を回す姿が見られます。寒い時期です が、外に出て体を動かすことで子供の体力向上につなげることが目的です。





平成31年1月 行事予定

一人 リチンル						
日	月	火	水	木	金	土
	7 冬季休業日終	8 後期後半始 全校朝会 新春の集い週間 席書会(56) 給食始	9 席書会(34) 身体測定(6)	10 身体測定(5) 元気アップトレーニング(12)	11 安全指導 身体測定(4)	12 学校公開日 (新春の集い) 校内書初め展始
13	14 成人の日	15 読書旬間(~1月末) 体育朝会(持久走オリエ ンテーション) 避難訓練	16 朝読書 身体測定(3)	17 児童集会 身体測定(2) 元気アップトレーニング(2) ジョギングタイム 避難訓練予備日	18 身体測定(1) 区連合書き初め(~22日) 4校時授業 (研究発表参加のため)	19
20	21 全校朝会 委員会活動 ジョギングタイム 身体測定(欠席者)	22 朝読書 4校時授業 保育園交流(5) 校内研究 (2-1のみ5校時授業)	23 児童集会	24 特別時程 4校時授業 (研究発表参加のため) 元気アップトレーニング(12) ジョギングタイム 区連合作品展(~29日)	25 朝読書 校内書初め展終 社会科見学(6) 学校公開	26
27	28 全校朝会 クラブ活動(3年生見学) ジョギングタイム	29 朝読書 連合作品展見学(5) なかよし班活動(昼)	30 朝読書	31 音楽朝会(3年生発表) 元気アップトレーニング(12) ジョギングタイム		れをご用意ください 室横)が受付です。 は禁止です。

生活目標 「あいさつを しっかりしよう」

生活指導部 吉原 あつ子

あいさつは、人と人とをつなぐきっかけとなります。 気持ちの良いあいさつができる合言葉が「あいてをみて」 「いつも」「さきに」「つづける」です。

相手の目を見て、自分の気持ちを伝える。 言う時言わない時をつくらずに、いつでも言う。 相手を見つけたら、相手より先にあいさつをする。 毎日きちんとあいさつをする。

あいてをみて いつも

さきに

つづける

このようなあいさつができることは、子供たちの財産になると思います。 日々、あいさつの大切さについて考え、実践できるようにしていきます。